

# JALUX 上場から5年間の歩み

JALUXは2002年2月に東京証券取引所に新規上場し、今年で上場5周年を迎えました。

その間、国際情勢の変化など、必ずしも順風とはいえない環境のもとで、独立企業として、着実に収益力向上へむけた取り組みを続け、利益規模、株主還元(利益配当金)ともに、概ね2倍以上の水準へと成長を遂げることができました。皆様にあらためて感謝申し上げるとともに、これからのJALUXの成長に、一層のご期待をお寄せいただければ幸いです。

経常利益(百万円)

5,000

4,500

4,000

3,500

3,000

2,500

2,000

1,500

1,000

2003.3

「生活提案事業」を重点事業と位置付け、『BLUE SKY』や『JAL-DFS』などの国内空港店舗事業を強化。順調な業績をおさめました。



2004.3

イラク戦争やSARSによる国際線旅客数減少の影響を受け、空港店舗は減収となったものの、通販事業における食品カタログの拡充が奏功し、減益幅を最小限にとどめることができました。



2005.3

2004年1月にJASTレーディングと合併し、事業規模を拡大。さらに、航空関連では新たな部品供給システムを構築し、大幅な増益を果たしました。また、2004年10月には『JALUXグッドタイムホーム・調布』を開業し、介護事業に新規参入いたしました。



2006.3

『JAL-DFS』は新規出店の寄与などもあり、好調に推移。前期に開始した『JALパケーションズ』も、堅調な需要に支えられ順調に取り扱い件数を伸ばし、経常利益は32億円となりました。



2007.3

上場以来取り組んできた、航空機部品供給システムなどの新たなビジネスモデルや、新規事業への取り組みが、着実に収益基盤の強化に寄与。7期連続での増配を果たすことができました。



2008.3(予想)

通販、空港店舗、ライフデザインなど、リテールビジネスの拡充などにより、4期連続での最高益更新となる経常利益37億円を見込み、1株あたり35円の配当金を計画しています。

2010.3(計画)

航空関連事業と生活提案事業、そして既存事業の発展としての新規事業(環境・文化・厚生分野)により、経常利益50億円への到達と、配当性向(連結)30%を目指します。

2002.2.28

東証2部新規上場

2004.3.1

東証1部銘柄指定

経常利益

配当金

1,509

15

1,975

16

1,914

20

2,878

22

3,212

24

3,516

30

3,700

35

5,000

60

配当金(円)

60

50

40

35

30

25

20

15

10

株価の推移(2002年3月～2007年3月)

